

ともだち談話



令和 6 年 (2024 年) 3 月 1 日 発行

今号は、居住地校交流と自立活動の様子を掲載しています。是非ご一読ください。

1 居住地校交流の様子

今年度の居住地校交流の実績は、昨年度と同様の実施となりました。今年度の希望者は、12 名（小学部 4 名、中学部 8 名）おり、実際に交流をすることができたのは、11 名でした。今年度は、インフルエンザによる体調不良で中止となってしまった場合もありましたが、実施者は全員が直接交流で計画、実施することができました。小学部の 4 名はいずれも低ブロックの児童で、2 回ずつの交流の実施となり、双方にとってより良い交流の時間となりました。

実施に至るまでは、事前に児童生徒の実態について情報共有を丁寧に行い、実態に合わせた交流内容で計画することで双方の児童生徒が楽しく有意義な時間を過ごすことができました。主な内容としては、音楽や体育、生活単元学習での制作など一緒に学習することで改めて学習の約束やマナーを意識することができました。休み時間も体育館で体を動かしたり、図書室に行って本を読んだりしていました。

交流後に、交流校からいただいたアンケートでは、「交流する機会がなかなかないので楽しい時間を過ごせました」や「複数回の交流が実施できて、子ども同士の距離が縮まったので良かった」などの言葉がありました。保護者の方からのアンケートでは、「我が子に合った交流内容を考えてくださり、ありがとうございます」や「受け入れてくださった交流校の子供たちの温かい目、優しい視線に涙が出ます」などうれしい言葉が多くありました。

この交流は居住地校に行き、同年齢の児童生徒と関わることで、本校の児童生徒にとってもたくさんの刺激があり、日々の学校生活の成果が活かされる場所でもあります。新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではありませんが、今後も双方の児童生徒にとってお互いが学び合い、自立に向けた大切な時間となることを願っています。

2 映画の紹介



『グリーンブック』2018 年制作 アメリカ

人種差別が色濃く残る 1960 年代のアメリカ南部を舞台に、黒人ジャズピアニストとイタリア系白人運転手の 2 人が旅を続けるなかで友情を深めていく姿を、実話をもとに描いた作品です。

本作の監督と脚本を担当したピーターファレリーをご存じでしょうか？本作以前は、弟のボビーファレリーとともにコメディ映画を多く手掛けていました。お下劣、おバカ映画と評されることが多い一方、異人種や障がいのある人を積極的にストーリーに登場させたりキャストに起用したりするなど、多様性に満ちた作風で有名です。

コメディ路線から一転、ヒューマンドラマに仕上がった本作でも、多様性を訴え掛ける素敵な一作となっています。そして、見終わった後は誰かとフライドチキンを食べたくなること必至です！！

3 自立活動の様子

自立活動と給食

本校では、たくさんの児童生徒の皆さんが、おいしい給食を楽しみにしています。給食は、手の使い方を学ぶ機会にもなっています。ご飯はつぶつぶ（ちょっとベタベタ）、サラサラのお味噌汁には細長い青菜やサイコロ状の根菜、手のひら大でサクサクのフライなど、形状や大きさが様々な食材を、スプーンやフォーク、箸などの食具で工夫しながらいただいています。

今回は、自立活動で箸の練習を積み重ね、給食でとても上手に使えるようになってきた小学部4年児童のご紹介をします。



練習開始から1年半で、箸操作がとても上達しました。最近では、大きめのおかずを箸で切り分けることにも挑戦しています。箸でご飯を口元まで運ぶことができるので、背中が丸まらず、いい姿勢でよくかむことができます。

食べやすくするための食具や補助具は数種類、市販されています。うまく活用して、より美味しく、食事を楽しみたいですね。

エジソン箸



リングに指を入れて、三点持ちの正しい形を身に付けることができるよう開発された補助箸です。

六角箸



箸を持ちやすくするよう開発された商品です。軽く、手の大きさに合わせて長さを選べます。



小3 12月
自立活動
『エジソン箸』
練習



小4 3学期
給食
『六角箸』
上手です。

(文責 自立活動教諭 相坂)

(今号は、池西・小田が担当しました)